

平成28年度 秋の全国交通安全運動 平成28年9月21日(水)～9月30日(金)

駐車場から左折で国道に出た、右から来た車と衝突

車3台絡む事故、男性死亡

◇駐車場から出る場合は、左右の安全確認と、余裕を持って出ましょう◇

2016年9月23日 00:00

22日午後6時25分ごろ、千葉県の国道で、無職女性(65)の軽乗用車が駐車場から左折で国道に出たところ、右から来た男性(76)の軽ワゴンと衝突。軽ワゴンは弾みで対向車線に進入し、会社員女性(31)の乗用車と衝突した。軽ワゴン車の男性は頭などを打って間もなく死亡が確認された。

2時間ごとに、15分休憩で 守ろう！ 自分の命 他人の命

- 積み下ろし作業中の、荷台からの墜落・転落に注意しましょう
- 鋼材、資材の積み下ろし作業中の、手・指・足のはさまれ事故に注意しましょう
- ハウス、トイレの積み下ろし作業時の、脚立・屋根からの転落に注意しましょう
- 敷き鉄板の積み下ろし作業時、ユニック作業に注意しましょう

交差点進入時は…

- 交差点には、必ず「人」や「自転車」や「車」がいる
- 相手は「避けない」、「止まらない」…かもしれない

信号の変わり目の…「見切り発車」、「後追行動」は危険です

バックは…『カメが歩くスピードの気持ちで！』

<丸藤シートパイル(株) 事故防止実施項目>

- 工場ルールの厳守…後ずさり行動、馬引き操作は、事故・災害の最大原因です、全面的に禁止します
- 運送安全行動…後ずさり行動、吊り荷の下に入らない、荷台の整理整頓でつまずき事故の防止

土・日・祭日は、部活の小・中・高校生の自転車に注意しましょう！

駐車場 母親が目を離れたすきに…車の前に出た1歳女児

母親の友人の運転する車にはねられ、死亡

◇車を発進させる場合は…前後左右の安全確認を行いましょう◇

2016年9月22日(木)2時14分

愛知県のスポーツ施設の駐車場で、会社員の男性の長女(1)が、母親の友人の運転する車にはねられ、死亡した。警察によると、長女は、母親の友人の乗用車で現場を訪ねていて、母親と共に車を降りたあと、目を離れたすきに車の前に出て、ひかれたという。警察は、運転していた無職の女性容疑者(36)をその場で逮捕し、当時の状況をくわしく調べている。

黄信号突っ込み、ウインカーを出さない無理な車線変更…撲滅を！

トラック協会も…「ゆっくり走ろう」、「黄色信号で止まります」

2016年9月22日

黄色信号に速度を上げて突っ込み、無理な車線変更するなどの違法走行で知られる「名古屋走り」。啓発キャンペーンを実施した。

名古屋走りは「黄信号は『進め』」、「右左折で方向指示器(ウインカー)を出さない」、「横断歩道に待つ歩行者を無視する」といったマナーの悪い運転。他地域から転勤などで名古屋市やその周辺に訪れた人は、迷惑で危険な運転に驚き、恐怖を感じることもあるという。免許を取りたてのころはルールを守るが、いつしかこうした運転に切り替わっていく負の連鎖が続いているとの見方もある。

◆トラック協会も

県トラック協会名古屋第三支部も21日、「名古屋走り」の追放を宣言し、「ゆっくり走ろう！」などののぼりを掲げたトラックで区内をパレードした。出発式で、支部の男性(62)が、「黄色信号で止まります」などと宣言。警察署長は「港区はトラックの保有台数が県内で最も多い。地域、企業、行政が一体となって安全運転への意識を高めたい」とあいさつした。

高齢者の交通事故事故、日没時に集中

車の自動点灯(オートライト)で防止狙う

◇日没時間帯直後に、死亡者急増◇

※恥ずかしいなどの理由で早めの点灯をためらう人もいる※

2016年9月22日19時25分

国土交通省が、暗くなると車のヘッドライトが自動点灯する「オートライト」の搭載を義務づける背景には、多発する高齢者の交通死亡事故がある。2014年に65歳以上の歩行者が亡くなった事故の発生時間帯を調べ、日没時間を照らし合わせたところ、一年を通して事故は日没の時間帯に集中していた。

◆車のライト、夜間の自動点灯を義務化へ 20年4月から

国交省の担当者は「日没の時間帯、とくに直後に死者が集中する。恥ずかしいなどの理由で早めの点灯をためらう人もいるが、死者を出さないことの方が大切」と指摘する。